

## 第2期越前市総合戦略【概要版】

### I 第1期（2015～2019年度）における地方創生の現状等

#### 1. 第1期地方創生の取組み

- ① 越前市人口ビジョン：2060年に62,400人程度の人口を維持する中長期展望を提示した。
- ② 越前市総合戦略：市の人口動向や産業実態等を踏まえ、2015～2019年度（5箇年）の政策目標・施策を策定した。

#### 2. 地方創生をめぐる現状認識

- ① 人口推移：大きな流れの中で人口減少傾向は避けられないが、本市の住民基本台帳人口は、第1期市人口ビジョンで提示した目標値と比較し、多く推移している。
- ② 日本人の転出超過：目標値比プラスの主要因は外国人の転入超過によるものであり、日本人の転出超過の傾向は依然として続いている。
- ③ 若い世代の転出超過：近年、女性のみならず、男性の転出超過も顕著になる。

#### 3. 地方創生に関連する将来の見通し

- ① 製造業を中心とした事業拡張に伴う雇用の動向と、北陸一のモノづくり都市を目指した産業の振興
- ② 南越駅（仮称）周辺の整備と、敦賀・大阪延伸を見据えた民間活力の導入
- ③ 本市の総人口は、今回の推計値に基づく、今後も減少傾向が続き、2040年に約69,200人、2060年には約54,500人となる

### II 第2期（2020～2024年度）に向けての基本的な考え方

#### 1. 全体の枠組み

- 市人口ビジョンに基づき市総合戦略を実施する、現行の枠組みを維持。

#### 2. まちの創生の進展

- 本市の製造品出荷額等は、合併後、過去最大を更新し、県内での占有率は29.1%を占めている。2018年には、だるまちゃん広場など武生中央公園の観光客入込数が100万人を超え、県内3位となった。
- 南越駅（仮称）周辺への民間活力の導入促進、新規出店等によるまちなかのにぎわい創出、2019,2020年度の地方創生推進事業であるインバウンド事業の推進、第3次産業の振興による女性の働く場の創出などに加え、AI,IoT等を活用した産業振興などを背景に、本市の雇用の増大、交流・関係人口の拡大など「まちの創生」に向け、進展している。
- こうした「まちの創生の進展」という本市を取り巻く大きな潮流の中、これらを土台に第2期市総合戦略に取り組んでいく。

#### 3. 検証を踏まえた改定の方向性

- 第2期市総合戦略においては、第1期市総合戦略の検証を行い、まちの創生の進展や第2期における新たな視点、国や県の動向等を踏まえ、現行の方向性や5本の基本目標と政策、施策等を基本的に継承しつつ、必要な見直しを行う。

#### 4. 第2期における新たな視点

- ① ダイバーシティの推進（誰もが活躍できる地域社会をつくる）
- ② 多文化共生の推進（外国人市民の定住化促進、外国籍児童の教育・保育環境の整備など）
- ③ 就学前教育保育の環境の充実（低年齢児保育ニーズや幼児教育無償化への対応など）
- ④ 高等教育での人材育成（高校や高専、大学でのふるさと教育、高校生の企業見学会など）
- ⑤ 若い世代のU I Jターンの促進（働く場の創出、転入・定住化促進など）
- ⑥ 関係人口の創出・拡大（県外大学等との連携、ふるさと納税の推進など）



だるまちゃん広場「かざぐるま塔」

## Ⅲ 目指す姿と各基本目標について

### 目指す姿 女性が輝くモノづくりのまち～子育て・教育環境日本一～

#### 基本目標Ⅰ 生産年齢人口の確保

女性の働く場の創出に力点を置いた支援を含め、先端産業から伝統産業までの本市の多様な産業の活性化を図ること、雇用を創出します。併せて、住宅の供給や職住近接支援などの市内居住の誘導により、生産年齢人口を確保します。

【取組みの例】

- ・ 立地企業への支援や既存産業の活性化など、産業の活性化により雇用を創出する
- ・ 企業と連携した女性の働く場の創出や、女性の起業・就業を支援する
- ・ 民間活力を活用した住宅の充実や市内企業と連携した職住近接支援により、転入就職者の住まいを充実する

#### 基本目標Ⅱ U I J ターンの支援

義務教育時のみならず多様な時期でのふるさと教育の実践によるUターン志向の形成に加え、市内には伝統産業から先端産業までグローバルに活躍できる企業があることをPRし、県外大学進学者のUターンを促します。併せて、U I J ターン者の就業・起業等を奨励しつつ、外国人を含めた働く世代の定住化を促進するため、多文化共生推進や住宅支援制度により市内定着を促します。

【取組みの例】

- ・ U I J ターン者の働く場の創出やふるさと就職の促進、情報支援などにより、就業・起業等を奨励する
- ・ 多様な時期でのふるさと教育の実践によりUターン志向を形成する
- ・ 市内定住の奨励や、外国人市民の定住化など、働く世代の定住化を促進する

#### 基本目標Ⅲ 若い世代の結婚の希望の実現

若い世代の転入・定住の促進を含め、働く世代の生活の安定や新婚世帯への支援を図りつつ、結婚の希望をかなえることができる施策を展開します。また、若者が結婚し家庭を持ちたいと思う意識の醸成や社会づくりを推進します。

【取組みの例】

- ・ 若い世代の転入や定住を促進する
- ・ 新婚・子育て世帯への経済的な支援など、働く世代の生活の安定を支援する
- ・ 交流や出会いの場の創出、家庭を持ちたいと思う結婚意識を醸成する

#### 基本目標Ⅳ 子ども・子育て支援と教育の充実

子ども一人ひとりの成長と自立をめざし、子ども・子育て支援施策や夢ある子どもの育成など教育・保育環境の充実、だるまちゃん広場やてんぐちゃん広場など子どもが学び・楽しめる環境づくりを推進します。併せて、ワーク・ライフ・バランスの確保等にも取り組み、若い世代の出産・子育ての希望をかなえます。

【取組みの例】

- ・ 妊娠・出産・子育て・教育等の支援などソフト面を充実する
- ・ 教育環境や保育環境のハード面を充実する
- ・ 仕事と家庭が両立できる環境づくりや女性が輝く環境の整備により、ワーク・ライフ・バランスを確保する

#### 基本目標Ⅴ 交流・関係人口の拡大とイメージアップ

北陸新幹線の大阪開業を見据えた南越駅（仮称）周辺の整備や伝統産業を切り口としたインバウンド事業、まちなかの賑わい創出など、交流・関係人口の拡大に関する取組みを図りつつ、日本一の子育て・教育環境、働く場や住まいの情報、コウノトリをシンボルとした豊かな自然環境など本市の魅力や情報を効果的に発信し、市のイメージアップを図ります。

【取組みの例】

- ・ 南越駅（仮称）周辺の整備や観光振興の推進、まちなかの賑わい創出などにより、交流人口を拡大する
- ・ 県外大学等との連携やふるさと納税の推進により、関係人口を創出・拡大する
- ・ 本市の様々な魅力や働く場、住まいの情報を、ウェブサイトやSNS等を活用し、市内外に情報発信する